

和歌山県の地震

第 2 7 卷 1 2 号
令和元年 1 2 月

和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
概況	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 3
2019 年和歌山県の地震活動の概要	・・・・・・・・ 4

地震メモ No. 313

南海トラフ地震関連解説情報 (令和 2 年 1 月 10 日)	・・・・・・・・ 6
---------------------------------	------------

- * この資料に使われている震源要素 (北緯・東経) は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000 (行政界・海岸線) を使用しています。

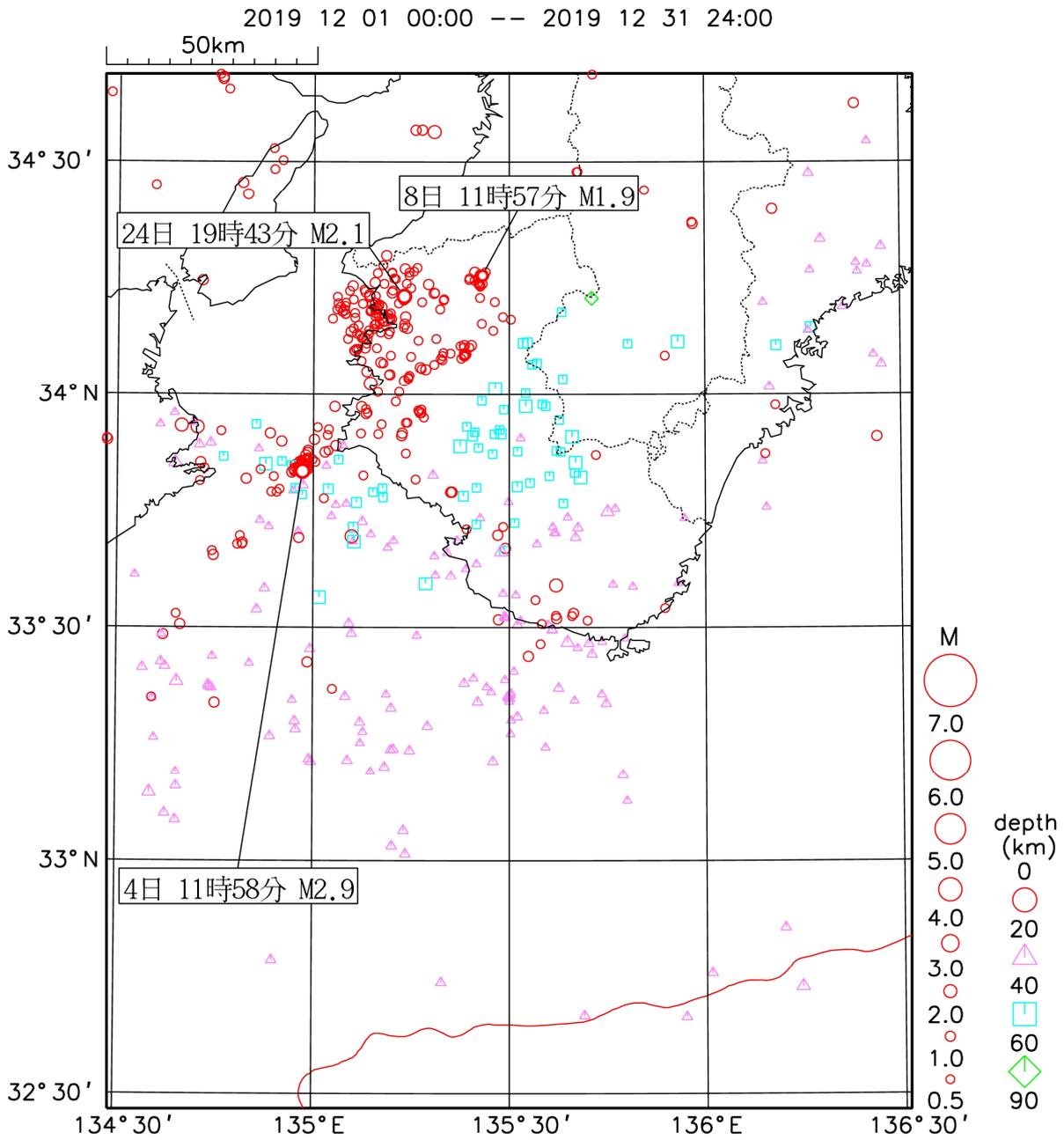
和歌山地方気象台

和歌山県の地震活動

2019年12月

和歌山地方気象台

震央分布図

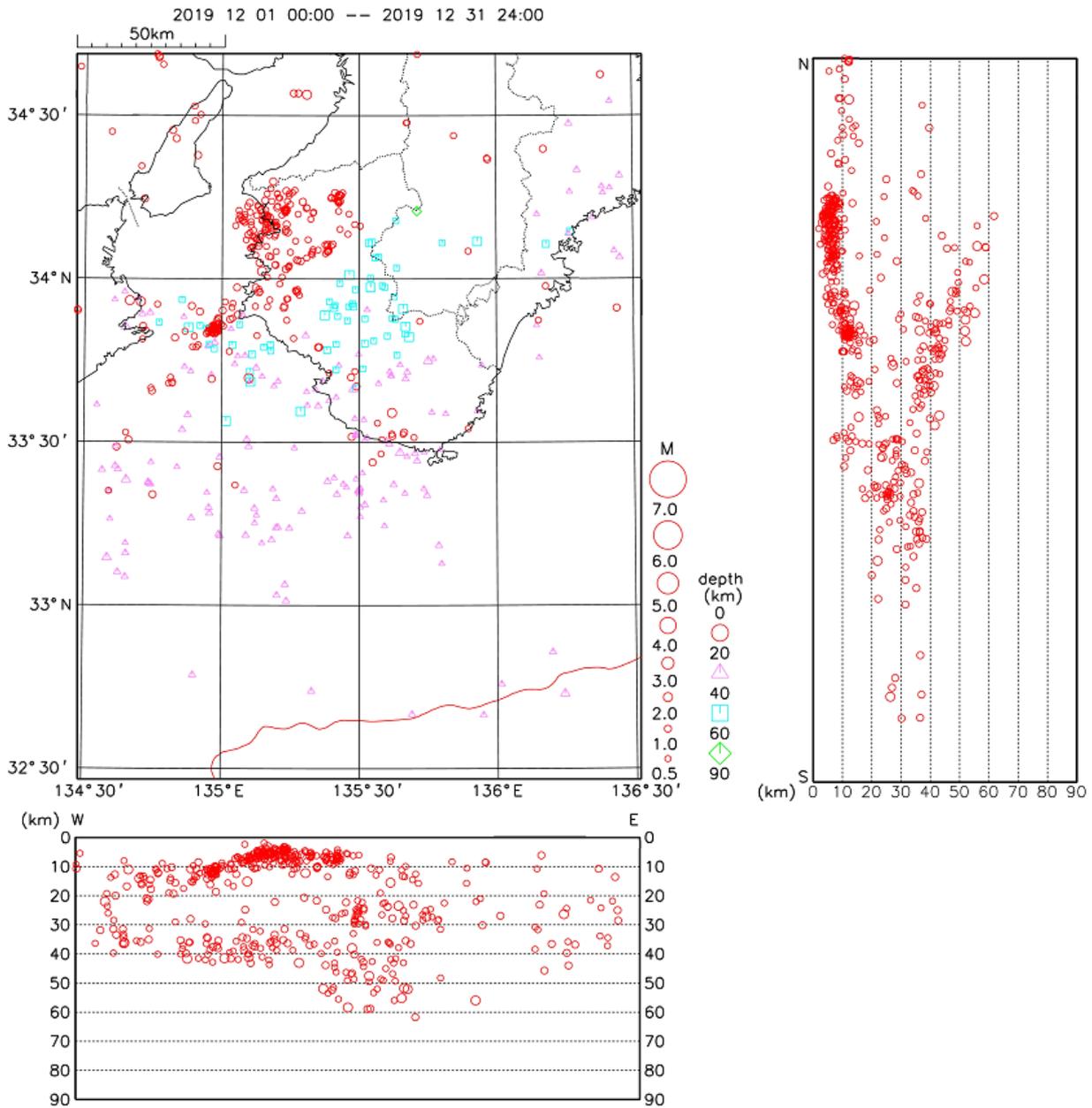


震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しています。

断面図



概況

12月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は28回(前月は21回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、4日11時58分紀伊水道の地震(M2.9、深さ12km)でした。この地震は地殻内で発生した地震でした。

12月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、2回(前月5回)でした。

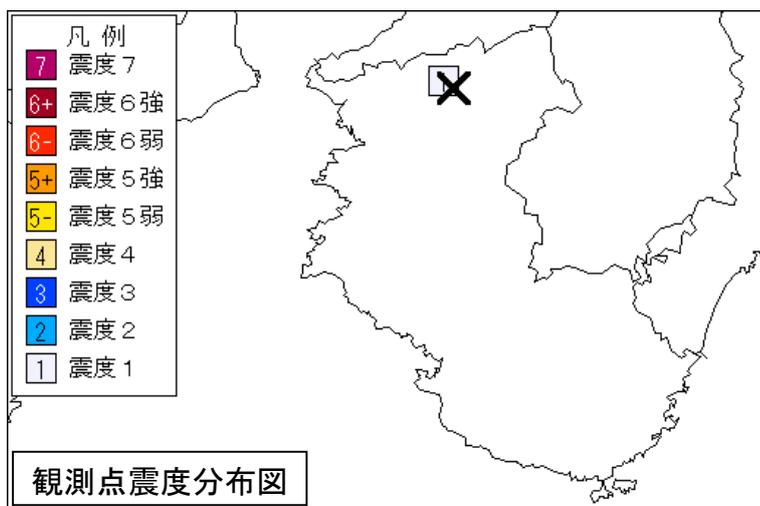
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2019年12月08日11時57分	和歌山県北部	34° 15.3' N	135° 25.8' E	7km	M1.9
和歌山県 震度 1：紀の川市粉河					
2019年12月24日19時43分	和歌山県北部	34° 12.6' N	135° 13.8' E	4km	M2.1
和歌山県 震度 1：和歌山市一番丁*					

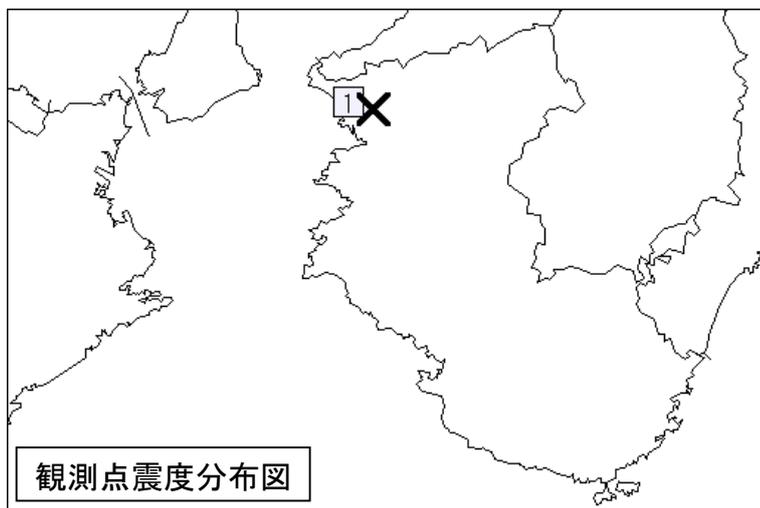
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震度分布図（図中の×は震央）

2019年12月08日11時57分 和歌山県北部の地震(M1.9、深さ7km)



2019年12月24日19時43分 和歌山県北部の地震(M2.1、深さ4km)



2019 年和歌山県の地震活動の概要

2019年に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は51回(2018年は93回)でした。最大震度4を観測した地震は、3月13日の紀伊水道の地震(M5.3、深さ43km)の1回で、最大震度5弱以上及び最大震度3を観測した地震はありませんでした。(表1、図1)。

また、和歌山県に緊急地震速報の発表も無く、津波警報及び注意報の発表もありませんでした。

和歌山県で最大震度1以上を観測した地震の震央分布図と月別の発生回数は図2・図3のとおりです。また、各観測点の震度観測数は表2を参照願います。

表1 最大震度別地震発生数

最大震度	回数
4	1
3	0
2	10
1	40

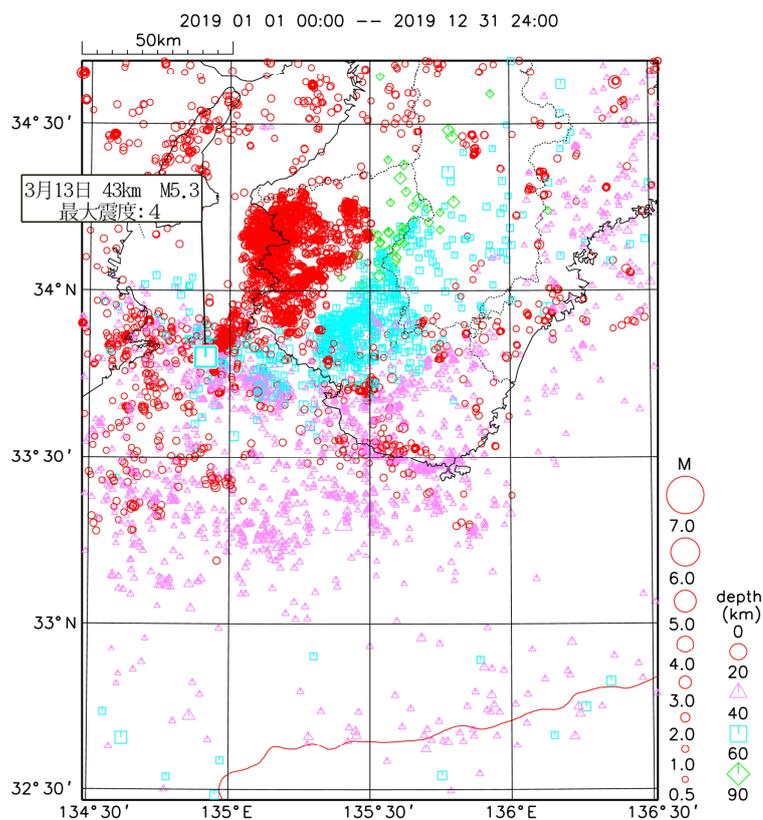


図1 震央分布図(期間:2019年1月~12月、M \geq 0.5、深さ:0~90km、吹出しは和歌山県で震度4以上を観測した地震。)

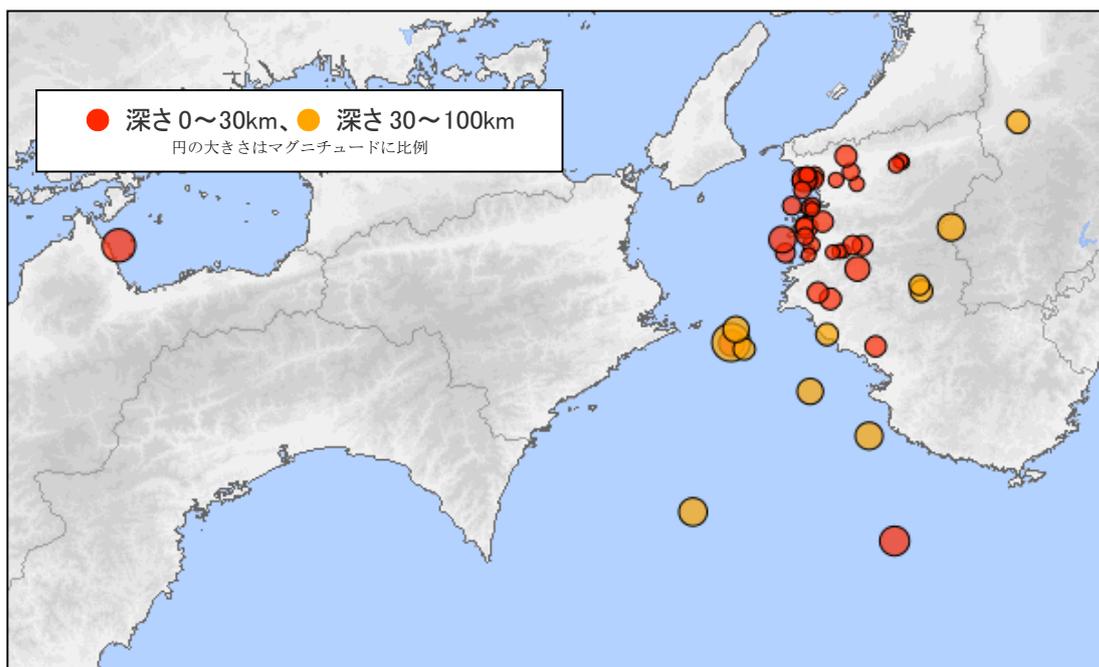


図2 2019年に和歌山県内で震度1以上を観測した地震の震央分布図

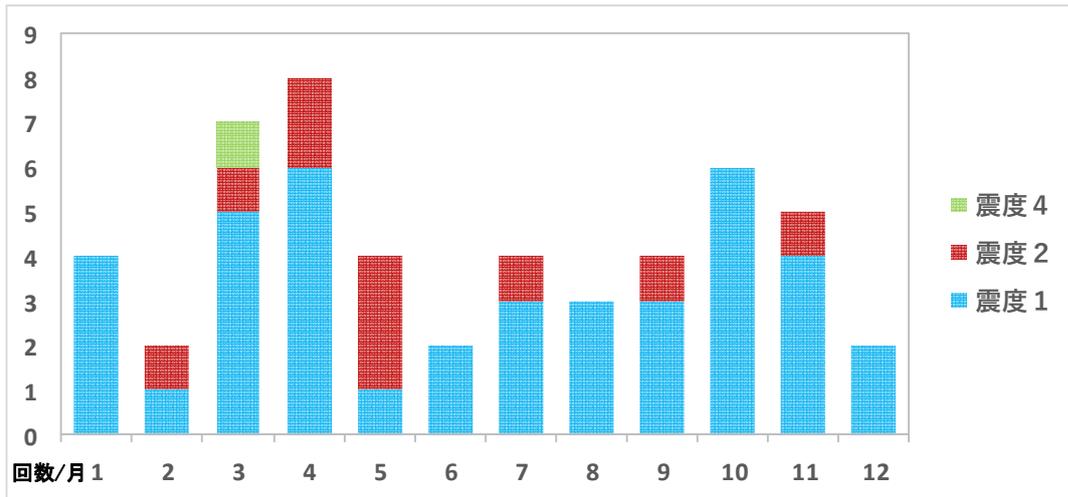


図3 2019年に和歌山県内で最大震度1以上を観測した地震の発生回数(月別)

表2 2019年に和歌山県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

観測点名称/震度	震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	合計	観測点名称/震度	震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	合計
和歌山市男野芝丁	8	0	0	1	9	紀の川市桃山町元	3	0	1	0	4
和歌山市一番丁	12	3	0	1	16	紀美野町下佐々	8	2	1	0	11
海南市下津	7	4	0	1	12	紀美野町神野市場	0	0	1	0	1
海南市南赤坂	0	0	1	0	1	有田川町清水	2	1	0	0	3
橋本市東家	0	0	1	0	1	有田川町下津野	6	1	0	1	8
橋本市高野口町名倉	0	1	0	0	1	有田川町中井原	5	0	0	1	6
有田市箕島	7	0	0	1	8	岩出市西野	1	0	1	0	2
有田市初島町	9	2	0	1	12	田辺市中辺路町近露	5	0	1	0	6
御坊市藪	9	0	0	1	10	田辺市中辺路町栗栖川	6	2	1	0	9
かつらぎ町丁ノ町	1	0	1	0	2	田辺市本宮町本宮	4	0	1	0	5
かつらぎ町花園梁瀬	1	1	0	0	2	田辺市鮎川	2	0	1	0	3
九度山町九度山	0	1	0	0	1	田辺市中屋敷町	4	1	0	1	6
高野町高野山中学校	2	1	0	0	3	田辺市龍神村西	2	1	1	0	4
高野町役場	0	1	0	0	1	新宮市新宮	3	1	0	0	4
湯浅町青木	18	6	0	1	25	新宮市磐盾	1	1	0	0	2
和歌山広川町広	5	1	0	1	7	新宮市熊野川町日足	3	1	0	0	4
和歌山美浜町和田	1	0	1	0	2	白浜町消防本部	2	0	1	0	3
和歌山日高町高家	2	2	0	1	5	白浜町日置	3	1	1	0	5
由良町里	7	2	0	1	10	上富田町朝来	1	1	1	0	3
和歌山印南町印南	0	0	1	0	1	すさみ町周	1	2	0	0	3
みなべ町土井	6	0	1	0	7	串本町潮岬	2	1	0	0	3
みなべ町芝	4	0	0	1	5	串本町串本	1	1	0	0	2
日高川町土生	10	2	0	1	13	串本町古座	1	0	0	0	1
日高川町高津尾	2	1	1	0	4	那智勝浦町朝日	0	1	0	0	1
日高川町川原河	2	0	1	0	3	太地町太地暖海公園	0	1	0	0	1
紀の川市粉河	3	0	1	0	4	太地町役場	0	1	0	0	1
紀の川市那賀総合センター	0	1	0	0	1	古座川町高池	3	0	1	0	4
紀の川市貴志川町神戸	4	1	0	0	5	北山村大沼	1	0	0	0	1
紀の川市西大井	0	1	0	0	1						

南海トラフ地震関連解説情報 (令和2年1月10日)

南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

(1) 東海: 12月17日から25日

(2) 四国東部から中部: 12月27日から継続中

2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

2018年秋頃から四国西部のGNSS観測及びひずみ観測で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2019年6月頃から停滞しているように見えます。

(長期的な地殻変動)

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

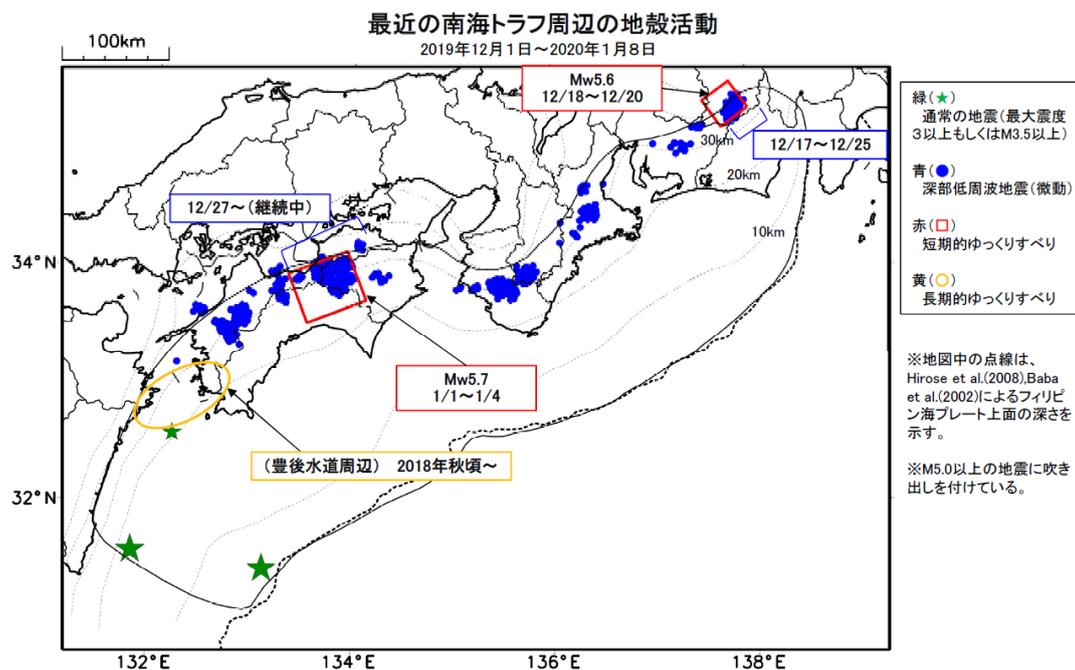


図 南海トラフ周辺の地殻活動をとりとまとめた図

この資料は、「南海トラフ地震関連情報」の普及を目的に、発表された『南海トラフ地震関連解説情報』の内容を抜粋、編集加工した概略を掲載しています。各観測状況の評価等、より詳細な事項等は以下URLの資料をご覧ください。

・ 南海トラフ地震関連解説情報 <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

・ 報道発表資料 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html> ※新着情報をご覧ください